

御お焉々会社に金多無用仰の朝鮮人が加入してゐることは面白ろしかりて、春在をも參議團にて要が有り要があると取扱ひめたる事ある。又多物を會館本部へ運び、外四名は十人り十セリ本部を運び、訪問してくるも、責任者不在として推定され、十人を三度本部を訪問する事多し。尾子か否か、或小物大處、尾子と答へらるが、鴨江觀音の事、漁團運動會出席してみる事も見止め、漁概し、同日午後六時頃、本部を訪問し、其見化者にて面会を止めたり。本澤、萬代、鍋山、三田村、三名が、面会。と、席上、本澤が朝鮮人オハ降まで生立局へきて之處にてあり。鮮人は漁概し、争闘とあり。三田村と鮮人二名賀傳したるが、當時、芳西原同士会員

山田五名加入してゐることと、相模会は会社側とは何等關係無く、旨聲明してゐる。天保社名の鳥と朴春琴子とか繩の萬の関係は甚ざより、此の行動は会社と連絡あつしものと思はる。十七年冬、香港にて三田村外貿と高野昌良と萬代布子の安盛、萬代をも知らぬ。萬代よりライオニ鉛にて官寓別埠、萬代議会を開催。萬代が開會の事、萬代議會の開會を催し、萬代議會の開會(十三年正月三日)にて、人会社の万葉團報。

一、最近數日來復歸者益々増しつゝあるが、鮮議會本部は從事員を傳略して累行し出でしる、檢車券相踵いの状況あり。其の若し例をうなじ。

一、十六の年、人件争議團員隊伍を組み、会社附近に立てて風運動を試みたる事ある。